

「人が集い、にぎわいのある、歩いて楽しいまち“はかた”を目指して」

2011年春の九州新幹線全線開通および新博多駅ビルの開業により、博多駅地区は大きく変わろうとしています。また、博多駅地区は土地区画整理事業からおよそ40年が経過し、駅地区の構造物も更新期を迎えるなど転換期を迎えています。

2008年4月に、博多駅地区の企業・自治協議会・団体により、博多まちづくり推進協議会が設立。現在はおおよそ120会員が皆に愛され誇れるまち、新たな時代の魅力的な風格のあるまちを創造することを目的にまちづくり活動に参加しています。

博多まちづくり推進協議会の今年度の活動の一つとして、2008年10月4日～26日にかけて、博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」を実施しました。博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」は“通りに「分かりやすさ」と「にぎわい」を” “通りに「歩きやすい」空間を” “環境と健康にやさしい移動手段の提供”の3つをコンセプトとし、14のメニューにより展開しました。

今回のシンポジウムは博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」の結果報告と、その成果を今後のまちづくりにどのように活かしていくかについて考える事を目的としています。

【日 時】平成21年2月16日(月) 13:30～16:00 (開場 13:00)

【会 場】ホテル日航福岡 3階 都久志(つくし)の間(福岡市博多区博多駅前2丁目18-25)

【内 容】

- 第一部 社会実験報告会 『博多駅地区社会実験「はかたんウォーク」の成果について』
博多駅地区社会実験実行委員会 各グループリーダー
- 事例紹介Ⅰ 『東京駅周辺地区におけるエリアマネジメントについて』
金城 敦彦(大丸有エリアマネジメント協会事務局長)
- 事例紹介Ⅱ 『「通り名で道案内」の取り組みについて』
中野 道男(九州地方整備局道路部道路計画第二課長)
- 第二部 パネルディスカッション 『博多駅地区の今後のまちづくりを考える』
(コーディネーター) 井上 信昭(福岡大学工学部社会デザイン工学科教授)
(パネリスト) 金城 敦彦(大丸有エリアマネジメント協会事務局長)
森山 誠二(九州地方整備局福岡国道事務所長)
福山 誠(博多区自治協議会長連絡協議会会長)
樗木 武(博多駅地区社会実験実行委員会委員長)

(敬称略)

【主 催】博多駅地区社会実験実行委員会、博多まちづくり推進協議会、(財)福岡アジア都市研究所

【後 援】朝日新聞社、NHK福岡放送局、九州地方整備局、TVQ九州放送、テレビ西日本、(独)都市再生機構九州支社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、福岡県、福岡市、毎日新聞社、読売新聞西部本社

【お申し込み】平成21年2月10日(火)まで

※参加無料

定員200名(先着順)

「博多シンポジウム聴講希望」と明記のうえ、氏名と住所を電話・ファックス・メールで福岡アジア都市研究所までお申し込み下さい。ファックスでお申し込みの方は、送信用紙に記入のうえ、お送り下さい。また、福岡アジア都市研究所のホームページ(<http://www.urb.or.jp>)でもお申し込み可能です。

担当：(財)福岡アジア都市研究所 兼子、弥富、瀧山

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1

TEL：092-733-5686

FAX：092-733-5680

E-mail：event@urb.or.jp

F A X送信用紙

(財)福岡アジア都市研究所 行き

(財)福岡アジア都市研究所

担当：兼子、弥富、瀧山

F A X : 0 9 2 - 7 3 3 - 5 6 8 0

T E L : 0 9 2 - 7 3 3 - 5 6 8 6

博多駅地区社会実験シンポジウム

「人が集い、にぎわいのある、歩いて楽しいまち“はかた”を目指して」

申 込 票

ふりがな	
氏 名	
電話番号	
郵便番号	
住 所	
E-mail	

※お申し込み後、整理券の送付はいたしません。当日は、直接会場へお越してください。
※尚、記載された個人情報につきましては、当研究所セミナーのご案内以外には利用いたしません。